**第 ２ 部**

障害のある人たちのニーズ等

|  |
| --- |
| 本部は、令和元年に市内の身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者および18歳未満の身体障害者手帳所持者・療育手帳所持者と市民・事業者等を対象に行った「金沢市障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画アンケート結果」から、障害のある人や市民等のニーズ等を把握するものです。  なお、より詳しく知りたい場合は、「金沢市障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画アンケート結果報告書」（2020年（令和２年）３月）を御参照ください。 |

# 第１章　調査の概要

### 調査の目的

この調査は、本市にお住まいの身体障害者手帳、療育手帳および精神障害者保健福祉手帳を持っている人（以下「障害のある人」といいます）と、金沢市ｅモニター制度の登録者および金沢市障害者差別解消支援地域協議会を構成する団体・事業者（以下「市民や事業者等」といいます）に、現在の生活状況や意識・意見・要望等をお聞きし、策定予定の「第５次金沢市障害者計画」および「第６期金沢市障害福祉計画・第２期金沢市障害児福祉計画」の基礎資料とすることを目的としています。

### 調査方法等

#### 障害のある人

〇調査対象者

・身体に障害のある人　18歳～64歳の身体障害者手帳所持者

・知的障害のある人　18歳以上の療育手帳所持者

・精神に障害のある人　18歳以上の精神障害者保健福祉手帳所持者

・障害のある児童　18歳未満の身体障害者手帳所持児・療育手帳所持児

〇抽出方法

・視覚障害・聴覚障害・言語障害・体幹障害・障害のある児童は全数、他の障害のある人は無作為抽出です。

・調査対象者は、施設入所者を除外しました。

・身体に重複障害のある人の障害の種類は代表部位としました。

・身体と知的に重複障害のある人は、知的障害としました。

〇調査票の配布・回収

郵送配布・郵送回収。なお、視覚に障害のある人等で必要な人には、点字調査票を配布しました。

〇調査基準日　令和元年10月１日

〇調査期間　令和元年10月21日～11月15日

#### 市民・事業者等

〇調査対象者

・金沢市ｅモニター制度の登録者（以下「市民」といいます）

・金沢市障害者差別解消支援地域協議会を構成する団体・事業者（以下「事業者等」といいます）が所属する会員事業者等の管理職職員中心（合理的配慮が特に必要とされる団体を対象）

〇調査票の配布・回収

・市民　電子メールによる配信・回答

・事業者等　郵送配布・郵送回収

〇調査基準日　令和元年10月１日

〇調査期間

・市民　令和元年10月21日～11月６日

・事業者等　令和元年10月21日～11月30日

### 回収結果

#### 障害のある人

単位：有効回答率は％、他は人

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　　分 | 身　　　　　　体　　　　　　障　　　　　　害 | | | | | | | | 知 的 障 害 | 精 神 障 害 | 障 害 児 | 合 　　計 |
|  | 視覚障害 | 聴覚障害 | 言語障害 | 上肢障害 | 下肢障害 | 体幹障害 | 内部障害 |
| 配　布　数  回　収　数  有効回答数  有効回答率 | 2,234  1,208  1,202  53.8 | 256  132  132  51.6 | 246  129  129  52.4 | 36  17  17  47.2 | 500  275  273  54.6 | 500  263  263  52.6 | 196  112  110  56.1 | 500  280  278  55.6 | 500  270  269  53.8 | 500  271  269  53.8 | 874  465  464  53.1 | 4,108  2,214  2,204  53.7 |

#### 市民・事業者等

単位：有効回答率は％、他は人

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　　分 | 市　　民 | 事業者等 | 合　　計 |
| 配　布　数  回　収　数  有効回答数  有効回答率 | 250  229  229  91.6 | 300  229  228  76.0 | 550  458  457  83.1 |

### 調査・分析にあたって

(1)　回答の比率は、その設問の回答者数を基数（Ｎ）として算出しました。したがって、複数回答の設問については、すべての比率を合計すると100％を超えます。

(2)　回答率（％）は、小数点第２位以下を四捨五入しました。

(3)　図表中、「-」は選択肢がないもの、「0.0」あるいは「0」は当該選択肢に○をつけた人がいなかったものです。

(4)　障害のある人には、属性不詳が次表のとおりあります。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　　　分 | 身　　　　　　体　　　　　　障　　　　　　害 | | | | | | | | 知 的 障 害 | 精 神 障 害 | 障 害 児 |
|  | 視覚障害 | 聴覚障害 | 言語障害 | 上肢障害 | 下肢障害 | 体幹障害 | 内部障害 |
| 年　　　齢  性　　　別  手帳の等級 | 24  7  9 | 6  2  0 | 1  0  0 | 1  0  0 | 3  2  2 | 3  0  2 | 4  1  3 | 6  2  2 | 8  0  5 | 6  4  2 | 15  1  - |

(5)　複数回答の場合は、図表のタイトル名の次に明示しました。したがって、タイトル名の次に明示されていないものは、単数回答です。

(6)　記述式回答および「その他」に記述されていた文章については、誤字等の軽微な修正にとどめ、内容面の修正は全く加えていません。

(7)　第２章第１・第２における障害名の略称は、下表のとおりです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 障　　害　　名 | | 略　称 |
| 身 体 障 害 | 聴覚障害、平衡機能障害  音声、言語、そしゃく機能障害  肢体不自由（上肢のみ）  肢体不自由（下肢のみ）  肢体不自由（上肢・下肢両方、体幹を含む） | 聴覚障害  言語障害  上肢障害  下肢障害  体幹障害 |
| 障 害 児 | 身体障害のみある児童  知的障害のみある児童  身体障害と知的障害が重複してある児童 | 身体障害  知的障害  重複障害 |